

土木工学・建築学委員会分科会の設置について

分科会等名：大規模地震災害総合対策分科会

| | | |
|---|--------|---|
| 1 | 所属委員会名 | 土木工学・建築学委員会 |
| 2 | 委員の構成 | 25名以内の会員又は連携会員 |
| 3 | 設置目的 | <p>近年、国内外において地震災害が多発し、多くの人命と財産が失われている。21世紀において持続可能な安全・安心社会構築のためには地震災害軽減のための学術・技術に関する研究を推進し、これらの成果を実社会に適用して行くことが急務である。</p> <p>日本学術会議は、わが国における学術の中核機関として、大学・研究機関・学協会等による地震災害軽減のための学術・技術研究の方向性を示すとともに、国・自治体等に対して地震災害軽減対策のための提言を発信していくことが求められている。本分科会では、理工学分野のみならず人文科学分野等の会員、連携会員の参画を得て、幅広い分野から地震災害軽減のための学術研究の方向性と実務への適用の方策を検討し、これらの成果を社会に発信する。</p> |
| 4 | 審議事項 | <p>① これまでのわが国の地震災害軽減対策の評価と新たな方向性の提言</p> <p>② 震防災性向上のための調査・研究および技術開発に関する基本方針の策定</p> <p>③ 発展途上国の地震災害軽減のための国際支援のあり方の検討</p> <p>④ 地震災害軽減のための科学技術分野の国際協力体制の検討</p> <p>⑤ 社会構造の地震災害への脆弱性の評価と対応策の検討</p> <p>⑥ 社会基盤施設の地震災害への脆弱性の評価と対応策の検討</p> |
| 5 | 設置期間 | <p>時限設置</p> <p>常設</p> |
| 6 | 備考 | |